

2019年度 海外語学実習（中国語）北京大学

海外短期研修参加レポート

国際交流学科2年生

私はこの研修を通してまず文化の違いに直面しました。道路では横断歩道を渡っていてもすぐ目の前をバイクが通ったり、車が通ったりすることは当たり前でした。また、中国はスマートフォンでの決済が当たり前なため、現金を出すのが嫌な顔をされることもありました。私たちはホテルでの滞在だったのですが、朝食はおかず、揚げ物、包子など日本での朝食とはかなり違うものでした。このように、様々な日本との違いで最初は戸惑うことが多かったけれど、一週間もすればほとんど慣れてきていました。学食も100円未満から150円前後と大変安く、食べる機会が多くあったため、中国の食文化に触れる良い機会であったと思います。

授業に関しては、先生たちが分かりやすく説明してくれたり、質問にも熱心に答えてくれたりするなど、非常に集中できる環境で良かったと思います。課題もほぼ毎日出たので、図書館に行って課題と自主勉強をするなどして、とても充実していたと思います。

課外活動は北京大学が主催である3泊4日の内モンゴル旅行や万里の長城、盧溝橋、雑技・京劇の鑑賞などがありました。内モンゴル旅行は大草原と砂漠に行って、ラクダや馬に乗ったり、モンゴル文化を体験したりなど普段する機会がないことをたくさん体験できました。その他の課外活動も中国の文化や歴史を学ぶことができたのでとても良かったと思います。